

3 年世界史（4 単位）

① 課題

5 月 6 日までの課題を順調に終えた者は、引き続きウイニングコンパスを用いて、8 章以降にも取り組むこと。8 月の終わりまでに最低 1 周、とくに世界史を得意科目とする者は 2 周でも 3 周でも、基礎固めとして粘り強く取り組むこと。

まだ終えていない者は、まずそこまでをしっかりと終わらせてから次の章に進むこと。

② 学習の進め方

教科書の本文は、必ず一通り目を通す。その時に、塾や予備校などのテキストで、自分がメインの教材としているものがあれば、それを副教材として読むのも良い。

ただし、あまりにたくさんの教材に手を出さないこと。一通り通史の学習が終わるまでは、教科書とウイニングコンパスだけを繰り返すことで十分な効果が得られる。

副教材として特に勧めるのは、以前からの注意にもあげている「世界史用語集」（山川出版社）である。教科書本文を読みながら、その項目に出てきた重要単語を熟読すると理解が深まる。

その他、「一問一答問題集」「世界史 10 分間テスト」などの、教科書の章立て通りに基本単語の確認をしていく問題集は、夏までの基本知識の確認用としては優れているので、余裕のある者は一通りやるのも良い。

ただし、いつまでも一問一答だけで学習すると本番の受験問題を解く応用力はつかないので、「ウイニングコンパスをパーフェクトにする」ことを夏までの目標にするとよい。

世界史が得意でさらに学習を進めたい者は、市販の、志望校のレベルにあった問題集などをやるのも良いが、世界史だけでは合格できないのも事実なので、残りの時間は全力で英語を学ぶことを勧める。

③ 評価など

自宅学習期間が終わった時点で、まず 7 章までの基本事項確認テストを行う。

引き続き、授業再開の状況により、ウイニングコンパスの提出または、ウイニングコンパスを自分のノートに回答したものの提出を求める。

学期末テストまたはそれに代わるテストができる状況になったら、出題範囲を指定してテストする。

以上の結果をもとに、評価を行うこととする。

